

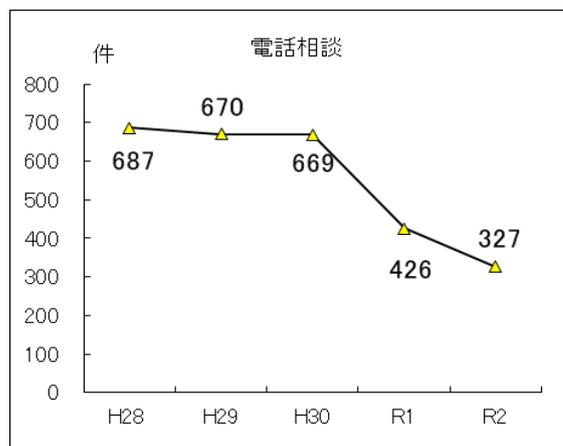
## 第2 地域福祉

### 1 住民主体の相談活動

番号	事業名	財源			
		自主 歳	補助	委託	事業
(1)	電話相談				

#### 結果の概要

- 誰かに話を聞いてほしいとの市民からの声に対して、積極的に周知を行った。
- 電話相談員に、精神保健分野の勉強会を開催した。
- 電話の匿名性により、こころの悩みや生活不安などの訴えなどを傾聴し、問題解決に向けて相談者に寄り添う形で対応した。
- 相談員会議を毎月1回開催し、情報共有及び対応方法の検討を行った。



#### 実績等

##### <事業実績>

相談日	月～金曜日（午後1時～4時）
相談方法	相談専用ダイヤルによる電話受付
相談員	1人で担当（8人の交代制）
相談日数	189日（年度当初は新型コロナウイルス流行により中止）
相談件数	327件
相談員会議	9回（3回は新型コロナウイルス流行により中止）

##### <相談内容>

内容	件数	内容	件数	内容	件数	内容	件数	内容	件数
生計	12	年金	0	職業、生業	2	住宅	1	家族	7
結婚	0	離婚	0	健康、衛生	6	医療	1	精神保健	273
人権、法律	0	財産	1	事故	0	児童福祉	0	母子保健	0
教育、青少年			0	母子、父子福祉	0	高齢者福祉	6	苦情	0
心身障害児（者）福祉			1	ボランティア	0	その他	22		

※相談内容は、一回の相談で複数の相談内容がある場合があるため、一部重複あり。

#### 分析・課題

- 緊急事態宣言発令のため、約3カ月事業を休止していたため大幅な減少がみられるが、仮に月ごとに均した場合、前年とあまり変わらない件数である。
- 継続相談者（285件）が全体の9割近くで、従前から利用している方は精神保健の相談が主であった。新規相談（42件）は新型コロナウイルス流行に関する「生計」に関する相談が多くみられた。

番号	事業名	財源			
		自主 歳	補助	委託	事業
(2)	ふれあい福祉相談				

結果の概要

- 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、令和2年2月下旬以降のふれあい福祉相談事業のサービスは中止した。
- 利用者へは、チラシ、福祉の窓等の方法で周知した。
- サービス再開に向け、四半期に一度の相談員会議を行い、再開のタイミング、その他の方法での開催といった内容の意見交換を実施した。
- 事業の特徴として、話し易さに配慮し、氏名や連絡先といった個人情報聞いていないため、安否確認には至っていない。

実績等

- 新型コロナウイルスの拡大状況を注視しながら、3か月に1回程度の相談員会議を実施した。
- 休止中に、ホームページやチラシといった広報媒体をリニューアルを行った。

分析・課題

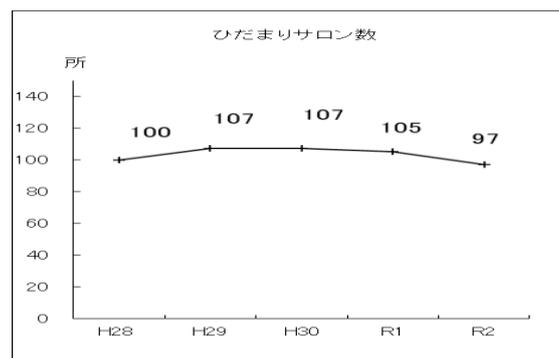
- ふれあい福祉相談事業は、主な実施日が水曜日であり、多くの利用者は高齢者会食と併用して利用していたため、高齢者会食と積極的に情報交換を行いながら、再開日を見定めていきたい。
- 緊急事態宣言も相まって、予定していた再開時期を変更した状況もあったため、従来の方法だけでなく、今後は別の方法で事業を実施することも視野に入れ、引き続き活動の検討を行う。

## 2 住民主体の交流活動

番号	事業名	財源			
		自主 歳	補助 市	委託	事業
(1)	ひだまりサロン事業				

結果の概要

- 緊急事態宣言発出にともない、各サロンへ活動自粛の依頼を行ったため、屋内や人数制限のあるサロンは活動を大幅に休止することとなった。宣言解除後も感染拡大防止を目的に活動制限マニュアルを作成し、各サロンへ配布した。感染対策を図りながら、活動内容を工夫して行うサロンもあった。また、活動は自粛しスタッフが参加者の自宅を訪問したり広報誌を作成したりするサロンもあった。



- 新規立ち上げはなし。8か所が解散。
- 約700人がサロンスタッフとして活動に参画した。
- 地域福祉コーディネーター、生活支援コーディネーター及びボランティアコーディネーターと連携を取りながら、立ち上げや活動の継続支援を行った。
- 新型コロナウイルスの影響で、地域別交流会は中止。代替企画としてコロナ禍での活動状況や意識調査をアンケートで実施し、後日「ひだまりサロン便り」にて各サロンへ広報した。
- 各サロンのネットワークづくりと情報共有、社協のPRを兼ねて「ひだまりサロン便り」を年2回発行。2月にアンケート集計結果を各サロンスタッフへ送付した。

## 実績等

○各グループ活動内容一覧（年度内に解散したサロンを含む）

	サロン名	活動場所	詳細
1	サンルーム西華	西部地域福祉センター	第2月曜日 0回開催 活動中止
2	緑ヶ丘おしゃべりサロン	緑ヶ丘地域福祉センター	第2火曜日（奇数月） 3回開催 脳トレ、体操、琴など演奏会
3	国領ひだまり	調布市市民プラザあくろす	第2・第4金曜日 8回開催 おしゃべり
4	ゆたかサロン	ライオンズマンション染地管理棟	第1・第3火曜日 15回開催 茶話会
5	ひだまりサロン多摩川苑	カフェ大好き	第2火曜日 0回開催 活動中止 ※3年度より解散
6	多摩住口号棟ひだまり	多摩住口号棟集会室	第3金曜日 0回開催 活動中止
7	ひだまり入間	都営アパート集会所	第3火曜日 7回開催 歌、体操、ぼけない君ビー玉
8	そよ風サロン	個人宅、調布住宅	第1金曜日・第4木曜日 10回開催 近況報告等
9	木曜クラブ	多摩川住宅ハ10号棟集会室	第3木曜日 6回開催 体操、手芸、相談
10	トラジ会	西東京南部同胞生活相談総合センター	第2木曜日ほか 23回開催 体操、近況報告、スタッフによる訪問活動
11	ひだまり菊野台	個人宅	第4木曜日 0回開催 活動中止
12	ふれあいランチ	シルバーピア調布染地	第1・第4木曜日 0回開催 活動中止
13	サロン・タマリバー	多摩川住宅ホ4号棟集会室	第1月曜日・第3火曜日 3回開催 10筋体操 ※3年度より解散
14	若葉三丁目ひだまり	個人宅	第1・第3火曜日 12回開催 読書会、近況報告
15	きさらぎサロン	たづくり みんなの広場	第2水曜日 8回開催 パッチワーク
16	サロンいこい	布田老人憩いの家	第2金曜日 4回開催 絵手紙
17	からむしの里	布田老人憩いの家	第3水曜日 1回開催 スタッフのみで今後の話合い
18	ひだまりぷちぽあん	ぷちぽあん	第2土曜日 0回開催 活動中止
19	なかよしサロン	小島町ふれあいの家	第3月曜日 3回開催 塗り絵、輪投げ、体操

20	コスモス会	都営八雲台自治会館	第3日曜日 4回開催
			おしゃべり、外出 ※3年度より解散
21	緑ヶ丘一丁目自治会 グリーンサロン1	緑ヶ丘小学校ふれあい給食室	第2・第4木曜日 2回開催
			近況報告、スタッフによる訪問活動
22	アゼリアお茶の会	マンションアゼリア	第2・第4火曜日 5回開催
			近況報告
23	農園サロンののはな	西つつじヶ丘の畑	毎週火曜日 34回開催
			園芸
24	飛田給ひだまり	西部ふれあいの家	第2木曜日 3回開催
			ポッチャ、おしゃべり
25	サロンあざみ	シルバーピア調布染地	第4月曜日 0回開催
			感染拡大防止のため中止
26	農園サロンぴーまん	西つつじヶ丘の畑	毎週木曜日ほか 89回開催
			園芸
27	調布ケアラーの会ク ローバー	調布市市民プラザあ くろす	第3木曜日 9回開催
			家族介護者の集いの場
28	緑ヶ丘健康麻雀サロ ン	緑ヶ丘地域福祉セン ター	毎週木曜日 16回開催
			麻雀
29	緑ヶ丘一丁目自治会 グリーンサロン2	緑ヶ丘小学校ふれあい給食室	第1・第3木曜日 0回開催
			活動中止
30	お茶のみクラブ	緑ヶ丘地域福祉セン ター	第1・第3月曜日 5回開催
			近況報告、茶話会
31	野川芝桜の会	野川河川敷	第2火曜日・第4日曜日 14回開催
			芝桜の手入れ、野川清掃
32	やよい会	下石原地域福祉セン ター	第2・第4木曜日 16回開催
			演歌・歌謡曲を歌う
33	緑ヶ丘2丁目あきら さん家	個人宅	第2・第4月曜日 9回開催
			スタッフによる自宅訪問
34	金曜サロン	深大寺東町市営住宅 集会室	第2金曜日 0回開催
			活動中止
35	アズランカ	個人宅	第2・第4火曜日 11回開催
			子育て、手芸、ワークショップ
36	つどい場カフェ	個人宅	第3月曜日 3回開催
			近況報告、健康体操
37	ひまわり	ネオコーポ調布多摩 川集会室	第2水曜日ほか 18回開催
			麻雀、相談等
38	童謡を歌う会シンガ ーズ・グリーン	緑ヶ丘地域福祉セン ター	第2土曜日ほか 3回開催
			近況報告、歌、体操、楽器演奏を聴く

39	上布田大好き OG/OB会	上布田自治会館	第1・第3月曜日ほか 16回開催
			相談、ものづくり、街中の話題
40	染地ふれあいサロン	染地ふれあいの家	第3水曜日ほか 7回開催
			近況報告、相談
41	サロン木洩れ陽	こころの健康支援セ ンター別館	第2金曜日・第4月曜日 0回開催
			活動中止
42	の～んびり茶の間	多摩川住宅口 7号棟 A・B・C集会室	第2木曜日・第4日曜日 0回開催
			活動中止
43	手話でひだまり in 富士見	富士見地域福祉セン ター	第4土曜日 0回開催
			活動中止
44	自主トれたんぽぽ	富士見地域福祉セン ター	毎週木曜日 22回開催
			体操
45	なかま  町づくり	深大寺東第一自治集 会場	毎週水曜日、第3金曜日ほか 25回開催
			おしゃべり、手芸
46	金子ひだまり	国領3丁目第2アパー ト集会所	毎週水曜日 29回開催
			輪投げ
47	テラコヤ3	金子地域福祉センタ ー	第3金曜日 2回開催
			座談会
48	くすのき絆サロン	くすのきアパート集 会室	第1・第3月曜日 10回開催
			水彩画、ぬり絵、おしゃべり
49	メイプルカフェ	メドウィン調布	第2・第4水曜日 14回開催
			介護の情報交換
50	多摩川太陽グループ	下石原地域福祉セン ター	第2木曜日 1回開催
			スタッフのみで今後の打合せ
51	花カフェ	美容院ラリス	毎週水・金曜日 5回開催
			近況報告、ギター演奏等
52	みかん健康体操	ときわぎ国領 ライフタウン国領	第1～第3月曜日 14回開催
			体操
53	ポーノ・ポーノ	たづくり	第3・第4火曜日・第3日曜日 6回開催
			アープ体操
54	くすのき健康麻雀サ ロン	くすのきアパート集 会室	毎週木曜日、第1・第3土曜日 36回開催
			麻雀
55	若葉カフェ	至誠ホーム調布若葉 ケアセンター	第3水曜日 2回開催
			近況報告、おしゃべり
56	ピンポンサロン	調布市青少年交流館	毎週火曜日 0回開催
			活動中止※3年度で解散
57	ゆずり葉の会	個人宅	第1・第3月曜日 13回開催
			おしゃべり、編物※3年度より解散

58	なごみ深大寺	深大寺地域福祉センター	第4金曜日 8回開催 ハーモニカ伴奏、折紙
59	なんてったってクラシック	染地地域福祉センター	第3水曜日 10回開催 クラシック鑑賞
60	わかくさサロン	都営八雲自治会館	第3土曜日 3回開催 近況報告
61	ふじみ手芸とおしゃべりサロン	富士見地域福祉センター	第2・第4水曜日 12回開催 前掛け、雑巾袋、カバーなどの作製
62	うたごえ喫茶 in 富士見	富士見地域福祉センター	第3土曜日 0回開催 活動中止
63	オアシス深大寺	個人宅	第1月曜日 2回開催 情報交換
64	テラ多摩川サロン	フィットネス&カルチャースタジオ Terra	第1・第3火曜日 18回開催 体操
65	サン歩会	個人宅	第1木曜日 4回開催 散歩、おしゃべり
66	西部輪なげサロン	西部ふれあいの家	第4木曜日 3回開催 輪なげ
67	おひさまカフェ	個人宅	第1金曜日 8回開催 情報交換、近況報告
68	くすのきひだまり	くすのきアパート集会室	第2・第4月曜日 6回開催 カラオケ、おしゃべり
69	早朝体操会	市役所前庭 メドウイン調布	(体操)日～金 (その他)月2回 12回開催 体操、茶話会
70	りはびり麻雀の会	染地地域福祉センター	毎週火曜日 43回開催 麻雀
71	ひだまりサロンY・Y	パークハウスザガーデン	第2月曜日ほか 0回開催 ※2年度で解散
72	AMK ふれあいネットワーク	朝日マンション国領の諸施設	活動項目により様々(毎週～1回/年) 活動項目により様々
73	杜と光のサロン	アトラス調布	第3木曜日 2回開催 近況報告、相談
74	エンジョイピンポン	富士見地域福祉センター	第2・第4土曜日 13回開催 卓球
75	山野園芸サロン	神代の杜、農園など	第1・第3火曜日、第2・第4土曜日 82回開催 園芸
76	ほっとカフェ談	西部地域福祉センター	第3金曜日、第5週目のいずれか 8回開催 交流・読み聞かせ

第1部 第2地域福祉

77	談楽バードカフェ	富士見地域福祉センター	第4火曜日 7回開催 川柳、ピンポン、談笑等
78	ひだまりテニス	市民多摩川テニスコート	第2・第4火曜日 17回開催 テニス
79	寿会	緑ヶ丘地域福祉センター	第2金曜日 1回開催 懇談、参加者へハガキ送付
80	遊ぼっちゃ	国領小学校体育館	第2木曜日 6回開催 ボッチャ ※3年度より解散
81	第3木曜日の会	上石原ふれあいの家	第3木曜日 1回開催 食事 ※3年度より解散
82	友悠麻雀初心者クラブ	緑ヶ丘地域福祉センター	第1・第3火曜日、第2月曜日、第4金曜日 14回開催 麻雀
83	ズッキーニ	布田老人憩の家茶屋	第1・第3月曜日 4回開催 近況報告、体操、ウクレレ、ペン習字
84	いきいき会	小島町ふれあいの家	第2・第4火曜日 13回開催 おしゃべり
85	手話ダンスすずらんサロン	緑ヶ丘地域福祉センター	第1木曜日・第3水曜日 20回開催 手話ダンス
86	ひだまりあみもの	ライフタウン国領	第1・第3金曜日 15回開催 あみもの
87	C○C○オアシス	調布こころの健康支援センター	第1・第3土曜日 10回開催 音楽、ゲーム、おしゃべり
88	みんなよってっ亭	くすのきアパート集会室及び前	第2・第4火曜日 3回開催 おしゃべり、参加者へお便り配布
89	ハッピーマニア	菊野台地域福祉センター（リモート開催あり）	第3日曜日 13回開催 子育て、軽スポーツ
90	ひまわりテニス日曜日クラブ	神代中学校テニスコート	第1・第3日曜日 20回開催 テニス、おしゃべり
91	サロンハイム	神代植物公園 他	第2日曜日 8回開催 ウォーキング
92	まちかどサロン	個人宅・緑ヶ丘地域福祉センター	第3火曜日 13回開催 体操、朗読、散歩、広報誌発行
93	飛田給ひまわりの会	西部公民館	月2回（曜日不定期） 13回開催 体操、折紙、工作、勉強会
94	メリーゴーランド	たづくり	第2火曜日・第4木曜日 12回開催 外国人との交流歓談
95	もりもりサロン	覺證寺	毎週金曜日 23回開催 手作りランチ
96	三火会	野ヶ谷ふれあいの家	第3火曜日 6回開催 近況報告、歌、体操

97	みんなの体操サロン	西部地域福祉センター	第4木曜日 8回開催 体操
98	子育てランチうさくらんち	個人宅	第2火曜日・第3水曜日 14回開催 食事、子育て、相談
99	うたごえサロン金子の里	国領3丁目第2アパート集会所 他	第4火曜日 9回開催 体操、脳トレ、散歩
100	2・4火曜会	深大寺こもれび	第2・第4火曜日 12回 体操・茶話会
101	けやきぶんこ	西部地域福祉センター	第2金曜日 6回 絵本、子育て、おしゃべり
102	上石原ひだまり	上石原ふれあいの家	第1～3火曜日 0回 参加者へ葉書を送付
103	めだかの学校	八雲台ふれあいの家	第1・第3火曜日 2回開催 10筋体操、茶話会
104	サロン・ド・わきあいあい	調布南キリスト教会	第1火曜日 4回 10筋体操、おしゃべり、折り紙、工作
105	サロンひかるげんじ	光源寺香ホール	第4木曜日 6回 おしゃべり

○令和2年度で解散となったサロンは以下の通り。

サロン名	解散理由
ひだまりサロンY・Y	サロンを通してマンション内のつながりが広がった。今後はサロン登録はせず、みんなで集まれるときに集まりたい。
ひだまりサロン多摩川苑	メンバーの高齢化や新たな代表者がいないなどが理由で、ひだまりサロンとしての活動は終了となった。今後は、集まれるときに集まれるメンバーで活動していきたい。
サロントマリバー	活動場所が11月より解体工事予定。完成まで3年かかりメンバーが戻るか未定。11月までは集まれるときに開催としサロン登録は令和2年度で終了としたい。
コスモス会	参加者の高齢化と、新しい代表者がいない課題をみんなで話し合い、令和2年度で解散となった。
ピンポンサロン	事務手続き等の負担を減らし必要な費用はみんなで集め、サロン登録はせず同じメンバーで活動は継続していくこととなった。
ゆずり葉の会	活動は継続していくがサロン登録は令和3年度以降で終了したい。今後は、コロナが落ち着いたらみんなで会費を募って活動していく。
遊ぼっちゃ	今後はサロン登録せずに制限なくやっていきたい。費用もお茶菓子代がなければ基本かからない。ポッチャを地域へ広めていきたいので、今後地域活動やイベント等で要望があれば協力したい。
第3木曜日の会	高齢者がほとんどなので令和3年度も無理せずやっていきたい。みんなで話し合い、補助金なしで自分たちの会費で活動していくこととなった。

○ひだまりサロン応援スタッフ会議

開催日	内容
5月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
7月15日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止（進捗状況レジュメにて報告）
9月15日	新規応援スタッフ紹介、助成金交付、リーフレット・冊子・便り発行、新規サロン・継続サロン相談、助成金返金手続き、サロンアンケート実施等について
11月17日	新規・継続相談、活動状況、サロンアンケート内容等
1月19日	新規・継続相談、返金手続き、サロンアンケート・サロン便り発行等
3月16日	来年度助成金申請、新規・継続相談、解散サロン報告、次年度に向けて等

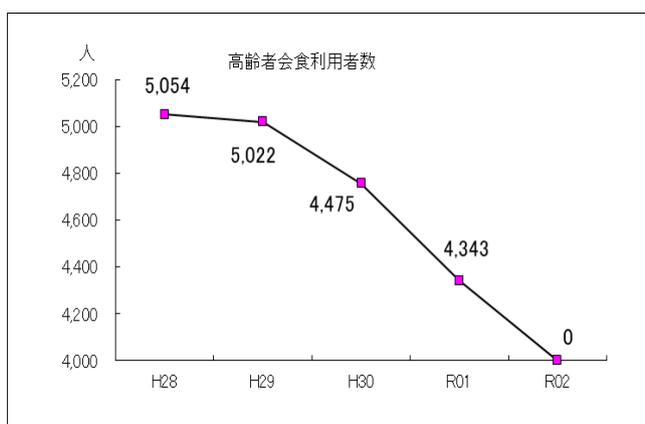
分析・課題

- 次年度より地域支援担当係がサロン事業を担うこととなっている。各サロンの日常的なケアやサポートに力をいれていきたい。
- スタッフや参加者の高齢化、代表者の交代により活動の継続が難しくなるサロンが増えてきている。定期的な活動の確認など状況把握に努め、活動の継続支援に力を入れていく必要がある。また、当面の間はコロナ禍での活動が見込まれるため、これまでの活動内容を見直し、自分たちで工夫して活動していけるように支援していきたい。
- コロナ禍で解散を余儀なくされたサロンもある。また感染防止対策として食事等を行わない活動を試みたものの、結果として卒業してしまったサロンもある。このことから、サロンの今後のあり方や何がサロンとして大切なのかを考えていきたい。
- 地域によりサロンの広まりに偏りがあるため、情報の少ない地域への働きかけを重点的に行っていききたい。
- 社協ホームページ、市民活動支援センターホームページへの更新頻度をあげ、幅広い世代へ情報発信を行っていく。
- 応援スタッフの役割を見直し、新しいスタッフを呼びかけ体制強化を図りたい。
- 福祉圏域に合わせた地域別交流会は実施方法や目的を見直し、サロン同士の交流やひだまりサロンとして必要なことを伝える機会としていく必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	高齢者会食サービス		市		○

結果の概要

- 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、令和2年2月下旬以降の会食サービスは全て休止とし、利用者については実施予定日に電話による安否確認を行った。
- 利用者の安否確認において深刻な状況は無かったが、様子が心配な方については地域包括支援センター等関係各所と連携し対応している。



○サービス再開に向けて、感染症予防対策用具の準備とボランティアとの意見交換会を行った。

**実績等**

地域福祉センター	利用者数 (人)	実施曜日	実施回数	ボランティア数 (人)	延べ利用者 食数(食)
菊野台	14	火	年間0回	17	0
深大寺	7	火	年間0回	18	0
下石原	11	水	年間0回	14	0
富士見	12	水	年間0回	14	0
染地	10	水	年間0回	19	0
西部	10	木	年間0回	16	0
調布ヶ丘	10	木	年間0回	12	0
緑ヶ丘	13	木	年間0回	13	0
入間	15	金	年間0回	13	0
金子	11	金	年間0回	13	0
	計 113 人		計 0 回	計 149 人	計 0

※利用者数及びボランティア数は令和3年3月31日現在の人数

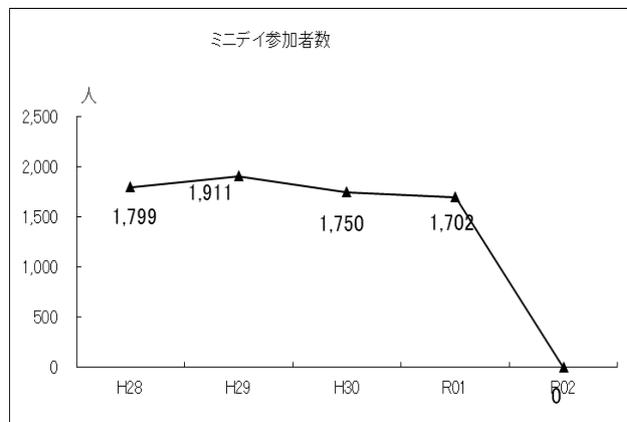
**分析・課題**

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、外出や会話の機会が減ったことによる健康面や精神面への対応が課題となっている。
- サービス再開に向けて、感染症予防対策と人数制限や時間短縮等の実施方法の見直しが必要である。
- 班をまとめていたボランティアの引退が目立ち、世代交代が課題となっている。仕事を引退し時間に余裕がある方にどうボランティアとして活動してもらえるかを検討する必要がある。
- 主な活動場所である地域福祉センターの工事が今後も予定されており、工事期間中の見守り方法や近隣の活動場所の確保など、サービス継続に向けた対応を早めに検討する必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	高齢者会食ミニデイサービス		市		

**結果の概要**

○新型コロナウイルス感染拡大予防のため、令和2年2月下旬以降のミニデイサービスは全て休止とした。



実績等

拠 点	実施曜日	実施回数	参加人数 (延べ人数)	内 容
菊野台	火曜日	年間0回	0人	レクリエーションダンス
深大寺	火曜日	年間0回	0人	体操
西部	木曜日	年間0回	0人	体操
調布ヶ丘	木曜日	年間0回	0人	体操
金子	金曜日	年間0回	0人	体操
入間	金曜日	年間0回	0人	歌
緑ヶ丘	金曜日	年間0回	0人	体操・歌
		計0回	計0人	

分析・課題

○サービス再開に向けて、感染症予防対策の検討と、自由参加としていた利用者の管理方法の見直し、感染リスクの高い歌やタッチダンスについては内容の見直しも必要である。

番号	事業名	財源			
		自主 会費	補助	委託	事業 ○
(4)	小地域交流事業				○

結果の概要

○新型コロナウイルスの影響を受けて、今年度の事業実施については、各地域の実行委員会に委ねるものとした。また、中止の場合もコロナ禍で何が出来るかを地域の特性を生かし検討していくこととした。結果、13か所すべての地域で従来のイベントは中止となった。一方で、一部の地域では次年度につなげる別企画を実施・検討したりアンケートを行ったりした。

実績等（※例年通りのイベントは全地域中止となる）

	地域名（会場）	事業名	別企画
1	緑ヶ丘地域福祉センター	緑ヶ丘・仙川地域ふれ愛のつどい (パート1)	壁面アート、手作り水族館 ⇒感染拡大防止のため中止 実行委員へアンケート実施
		緑ヶ丘・仙川地域ふれ愛のつどい (パート2)	
2	入間地域福祉センター	三世代輪投げ大会	実行委員へ今後の活動についてアンケート実施
		入間はつらつ地域まつり	
		新春お茶会	
3	菊野台地域福祉センター	菊野台地区地域のつどい	「菊野台地区地域のつどい」茶話会を2回実施（3回目は中止）
4	金子地域福祉センター	金子バリアフリー映画体験会	
		金子ふれあいまつり	
5	国領小学校	国領わいわいまつり 2019	①参加団体紹介冊子作成 ②横断幕作成

6	深大寺地域福祉センター	ふれあいフェスタ北ノ台	
7	深大寺小学校	深大寺ふれあいのつどい	
8	調布ヶ丘地域福祉センター	調布ヶ丘わくわく広場	
		調布ヶ丘わくわくミニ交流会 みんなでポッチャ&輪投げ&福笑い	
9	こころの健康支援センター 布田小学校 こころの健康支援センター	布田わくわく歌声ひろば	「C o C o D e C o 2020～みんな でつなぐこころの灯～」を実施
		布田小学校梅まつり	
		布田わくわくひろばまつり・地域のつどい	
10	染地地域福祉センター	みんなおいでよ！～友達になろう～ 第23回ボランティアまつり染地	①情報交換会を実施 ②ごみひろいおさんぽ in染地+バリアフリー映画体験会 ⇒感染拡大のため中止
		みんなおいでよ！～友達になろう～ 染地で広げよう、つながろう 令和の『わ』	
11	富士見地域福祉センター	富士見ふれあいのつどい	
12	下石原地域福祉センター	下石原地区ふれあいのつどい	チラシ作成(参加団体から近況報告と来年度に向けたコメント掲載)
13	西部地域福祉センター	西部ふれあいのつどい	

### 分析・課題

- 当初は、イベントを中止する場合、別企画などの実施や検討を予定していたが、度重なる緊急事態宣言の発出等もあり、実行委員会自体開催できなかった地域も多かった。
- 従来のイベントも代替企画も、中止が続いてしまうと地域のつながりの希薄化や地域の担当者の変更等で、再開が難しくなる可能性がある。つながりの維持や新たな人材の発掘が課題となる。
- 多くの地域で実行委員の高齢化が課題となっている。若い担い手や新たな担い手の発掘が必要である。
- コロナ禍でのイベント開催は感染防止対策や工夫が必要となるが、本事業は、様々なつながりが希薄化するコロナ禍だからこそ求められる事業でもあると思うので、各地域の状況に合わせた取り組みを行っていききたい。

## 3 住民主体の訪問活動

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	ほのぼの電話訪問		市		

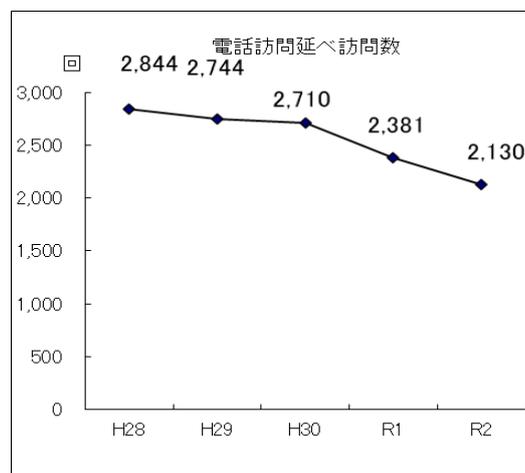
### 結果の概要

- 電話訪問員10人(月～金：各2人)が午前中、利用者に電話を掛け安否確認を行うとともに、話をする中で孤独感の緩和を図った。

○新型コロナウイルスの感染予防、熱中症や住宅火災予防、振込め詐欺等への注意喚起と情報提供を、訪問員を通じて利用者へ適宜行った。

○訪問員からの報告により家族やケアマネージャー、地域包括支援センター、地域福祉コーディネーター、民生児童委員等と連携を図り、適切な支援を行うことができた。

○利用者人数は大きく変動することはなかったが、死亡や施設入所、他サービスとの重複での中止や入院で長期間サービス休止されている方が複数名いた影響で、延べ訪問回数は減少している。



○毎年、他の事業と合同で訪問員研修を実施していたが、新型コロナウイルスの影響により令和2年度は中止とした。

○新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が発令されていた令和2年4月13日～5月29日は、訪問員からの電話は休止とし、同期間は職員から利用者への安否確認を行った。

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月に予定していた第1回電話訪問員会議は中止とした。

## 実績等

### ○利用実績

月	利用者数 (人)	訪問回数 (回)	月	利用者数 (人)	訪問回数 (回)
4月	48	185	10月	49	191
5月	48	146	11月	51	167
6月	47	194	12月	49	162
7月	50	198	1月	50	168
8月	49	179	2月	49	167
9月	49	166	3月	49	207
		合計	588		2,130

※電話訪問員からの午前中の電話に回答がなく、午後から安否確認をした件数 146件

### ○電話訪問員会議・研修

月 日	項目	内容
4月7日	第1回電話訪問員会議	新型コロナウイルスの影響により中止
7月3日	第2回電話訪問員会議	近況報告・事例検討
9月28日	第3回電話訪問員会議	近況報告・事例検討
11月24日	第4回電話訪問員会議	近況報告・事例検討
3月2日	第5回電話訪問員会議	近況報告 (緊急事態宣言中のため、時間短縮にて開催)

## 分析・課題

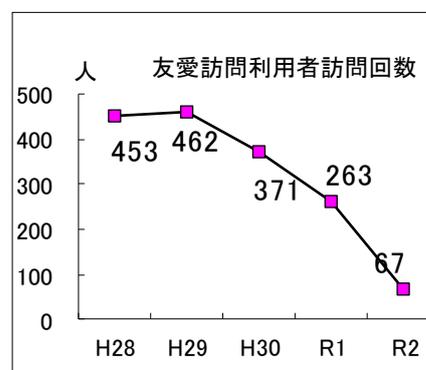
○新型コロナウイルスの影響により実施できない事業がある中で、電話訪問は直接対面せずに行える安否確認の事業として緊急事態宣言中でも稼働することができた。人と会うことや交流する機会が絶たれてしまった利用者の方も多くいたため、電話訪問の目的の一つである「孤独感の緩和」に大きな役割を果たすことができた。

- 7月以降新規利用申込者が増加し、計10人の利用につながった。人と会う機会が減少し孤立している高齢者が今後も増加することが想定されるため、そのような方々にも情報が行き届くよう引き続き広報活動に力を入れていく。
- 利用者とのかわりが電話訪問員のやりがいにもつながっており長年継続してくださっている方がほとんどだが、年度内に訪問員が2人退任（体調不良による）。また、訪問員の高齢化が進み「今後の継続に不安を感じる」との声もあがっているため、今後は訪問員の後任候補を探していく必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	友愛訪問事業		市		

### 結果の概要

- 友愛訪問員12人が、週1回1時間程度高齢者宅を訪問し話し相手となることで、孤独感の緩和を図った。
- 訪問員から報告のあった利用者の心身の変化を家族や社協内他部署、地域包括支援センター、ケアマネージャー等に伝え、連携して事故の防止を図った。
- 熱中症予防や住宅火災予防、振込め詐欺等への注意喚起と情報提供を、訪問員を通じて適宜行った。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月、5月は訪問員による訪問をやめ、電話で安否確認をとった。訪問員連絡会も中止とした。
- 6月以降は、利用者・訪問員ともに感染症対策を行ったうえで訪問を実施した。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、フェイスシールド、手指消毒スプレーを各訪問員に配布した。



### 実績等

月	利用者数 (人)	合計訪問 (回)	友愛訪問員連絡会		
			回数	日付	内容
4	0	0	0		感染防止のため訪問、会議なし
5	0	0	0		感染防止のため訪問、会議なし
6	10	17	0		なし
7	11	23	1	10日	新年度体制、活動報告、情報交換等
8	3	6	0		なし
9	6	14	0		感染防止のため会議なし
10	11	20	0		なし
11	10	22	1	11日	活動報告、情報交換等
12	9	18	0		
1	2	3	1	13日	活動報告、情報交換等
2	1	1	0		
3	4	5	0		感染防止のため会議なし
計	67	129	3		

**分析・課題**

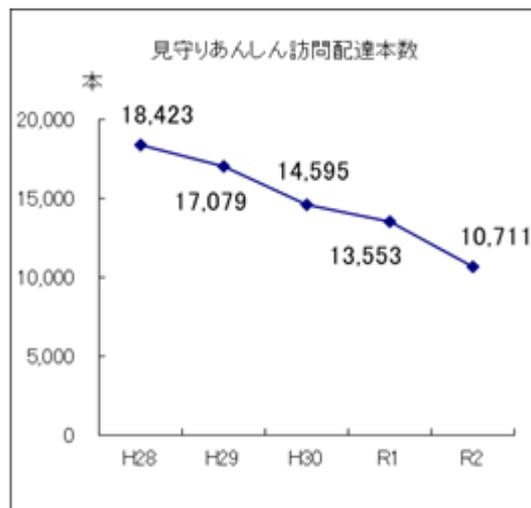
- 歩行困難で外出して人と会う機会が減った、また、聞こえにくくなり大勢が集まる場所での会話が困難になった等の理由で、事業のニーズが高まっているが、現状ではひとりの訪問員が複数の利用者を受け持っているため、負担を考え訪問員を増やすことが必要と考えられる。
- また、男性の利用希望者も増加傾向にあることから男性訪問員（現状2人）の増員検討も必要と考えられる。
- 訪問員が高齢化傾向にあり、安全に活動できるよう引き続き活動環境（活動地域、利用者の担当数および訪問間隔）の配慮が必要と考えられる。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、年度内訪問員を辞退する方が4人となった。

**4 企業との協働活動**

番号	事業名	財源			
		自主 歳	補助	委託	事業
(1)	見守りあんしん訪問事業				

**結果の概要**

- 週2回（月・木曜日）ヤクルトレディが高齢者宅を訪問し、乳酸菌飲料の手渡しと声掛けで安否確認を行った。
- 新型コロナウイルス感染拡大予防を目的とした初回の緊急事態宣言発出期間（令和2年4月7日～5月31日）はヤクルトレディの訪問が休止となり、約14回分の配達本数が減少した。この期間の利用者については配達日の月曜日または木曜日の何れかで、週に一度の電話による安否確認を行った。
- ヤクルトレディはマスク着用や手指消毒などの新型コロナウイルス感染対策を行いながら訪問を実施した。
- 訪問時、ヤクルトレディが利用者宅の異変や利用者の変調を察知した際の緊急連絡が徹底されてきた。
- 訪問状況の把握やスムーズな利用につなげることを目的とした、東京ヤクルト販売(株)と配達区域3か所のヤクルトセンターとの意見交換は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑みて今年度の開催を見送った。
- 東京ヤクルト販売(株)、緊急連絡先、民生児童委員、ケアマネージャー、地域包括支援センターなどと連携し、ひとり暮らし高齢者の安心のみならずご家族の安心にもつなげることができている。



**実績等**

	安否確認 (件)	利用者数 (人)	配達本数 (本)	支払金額 (円)		安否確認 (件)	利用者数 (人)	配達本数 (本)	支払金額 (円)
4月	7	179	293	25,313	10月	38	179	1,236	106,841
5月	0	179	0	0	11月	32	179	1,077	93,053
6月	47	171	1,245	107,616	12月	24	171	928	80,203

7月	28	175	1,089	94,092	1月	15	175	804	69,441
8月	24	175	934	80,718	2月	26	178	939	81,150
9月	29	177	946	81,584	3月	33	183	1,220	105,456
※利用者数には休止者を含む					合計	303	2,121	10,711	925,467

○安否確認の件数は303件であった。(令和元年度:487件/平成30年度:622件)

職員の自宅訪問による安否確認はなかった(令和元年度も無し)が、ヤクルトレディ訪問時の機転(早期対応)により、2件の救急(119)救命対応と2件のご遺体の早期発見ができた。その他にもヤクルト手渡し時の体調不良の連絡をご家族や関係機関へ迅速に伝えることが出来るようになった。

○新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用者の外出機会が減り安否確認数も減少した。

○利用者の転居や死亡、他サービスの利用による辞退、および利用者の高齢化に伴う通院や入院による休止者も増加し、配達本数が減少した。

### 分析・課題

○他のサービスを利用されていない方にとって、大切な見守りの機会となっている。必要と思われるサービスや支援の受け入れに拒否的な方も、本事業への抵抗感は薄いようで、今後の適切なサービスや支援へつなげるきっかけともなっている。

○新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用者の外出や会話の機会は大幅に減ったが、ヤクルトレディの訪問と声掛けや会話は、ヤクルトレディと利用者との繋がりをより強固なものとしている。

○孤独死や孤立死は依然社会問題となっており、見守りが行き届いていない高齢者の利用につながるよう、引き続き事業を周知していきたい。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	高齢者訪問理美容サービス		市		

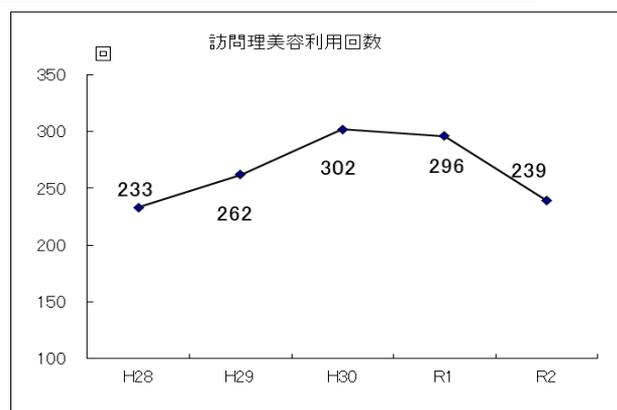
### 結果の概要

○令和2年度新規申請者は88件であった。申請件数・利用件数ともに減少しているが、コロナ禍により、利用を控える方が一定数おられたためであると思われる。

○従事者のサービスの質を高めるため、理容組合・美容組合の会員を対象に、『新型コロナウイルス感染症に関する対策や利用者宅訪問時に気づいたこと』等、講師(東京かたばみ会ちょうふの里の地域包括支援センター・居宅介護支援事業所の職員)と参加者として情報交換会を行った。美容組合のみ、多摩府中保健所の衛生講習も同日に実施した(保健所の講習は美容組合が調整)。

○サービス対象外である要介護2以下の方からの「実費でも訪問理美容を依頼したい」という問い合わせには、以前に引き続き協力理容店と美容組合の「福祉美容サービス」を紹介する等の対応をした。

○ふくしの窓、市報に事業の利用案内を掲載した。



実績等

- 利用回数 239回（理容135回／美容104回）
- 申請者数 156人（前年度166人）
- 理美容券を全て使用した人は27人であった（申請者数の約17%）。
- 前年度は41人だったため、14人減少した。

分析・課題

- 令和2年度は令和元年度に比べて、申請者数が10人減少し、利用回数は57回減少した。特に5月の緊急事態宣言時に利用を控えた方が多かったようである。対象外の方からの問い合わせも依然あり、今後も続くと思われる。
- 利用者アンケートを実施したところ、「外出することが難しいので訪問してもらえてありがたい」「丁寧に対応してもらえて嬉しい」等、サービス内容に満足しているという回答が多く、訪問による調髪のニーズの高さがうかがえた。
- 理容・美容両組合とも、手指消毒・マスク着用を徹底して利用者宅を訪問し、器具の消毒も通常どおり入念に行い、新型コロナウイルス感染防止に努めている。

## 5 人材育成

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	手話講習会事業		市		○

結果の概要

- 新型コロナウイルスの影響により、入門・基礎・養成基本クラスは令和3年度に延期した。
- 他クラスに比べ少人数での授業が可能であることから、養成応用クラスのみ登録手話通訳者試験に向け、緊急事態宣言解除後の令和2年8月から令和3年3月の期間で実施した。
- 令和3年度開催に向けて入門・基礎・養成基本クラスの新規募集はせず、令和2年度申込者に対し優先的に受講案内をした。
- 養成応用クラス実施にあたり、感染症対策として下記の対応を行った。
  - ・受講回数削減の為、1回の授業を1.5時間から2時間に、受講回数を全35回から27回に変更した。
  - ・感染症対策として、受講生全員にフェイスシールドを、講師と世話人に眼鏡型低反射フェイスシールドを配布した。また講師と受講生間にはアクリル飛沫板を設置した。
  - ・48人定員の部屋を使用し、各自1メートル以上の間隔を確保した。
  - ・館内空調とサーキュレーターを利用しての換気を行った。
  - ・授業開始前および終了後は世話人による消毒作業を行った。
- 手話通訳者登録試験は感染症対策を行い実施した。養成クラス修了者7人が申し込みを行ったが、最終的に6人が受験し、1人が合格となった。

実績等

- 養成基本クラス講習課程  
年間27回の講習会を実施した。

- ア 技術取得 年 26 回
- イ 学習発表会 中止
- ウ クラス別講演会 年 1 回
- エ 全体講演会 中止

○受講者数

	コース名	定員(人)	受講者数(人)	修了者数(人)
火曜日 昼間	入門	40	0	0
	基礎	35	0	0
	養成基本	20	0	0
金曜日 夜間	入門	40	0	0
	基礎	35	0	0
	養成応用	15	7	7
合計		185	7	7

○費用

年間 4,000 円（その他教材費は実費負担）

※中止により、入門・基礎・養成基本クラス申込者へは返金対応を行った。

○全体講演会・全体交流会

新型コロナウイルス感染拡大の為中止。

○講師会

- ・ 7 月 養成クラス講師と令和 2 年度の実施について検討。
- ・ 10 月 養成応用クラス実施状況について確認。
- ・ 12 月 Zoom を活用し全クラス講師と次年度の実施について検討。

○世話人会

中止

○講師研修

中止

分析・課題

- 養成応用クラス受講者 7 人全員が修了し、手話通訳者登録試験の申し込みをされた。講習会を継続したことで、登録手話通訳者試験へのモチベーションを維持することが出来た。
- 令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響により講師研修を実施できなかった。今後 Zoom の活用も視野に入れ、講師や研修内容を検討しながら、講習会の質を高められるよう実施していく。
- 新規で手話を学びたい方の受け皿や手話学習のモチベーションの維持、また手話通訳者の育成のため、令和 3 年度以降、継続した事業運営の必要性が高まっている。今後コロナ禍に於ける講習会の在り方や継続方法に検討していく必要がある。
- 講習会の実施に当たっては、1 年間手話学習が出来なかったことへの配慮と更なる感染症対策の徹底が求められる。
- 継続した講習会運営が図れるように次世代の講師、世話人の育成も視野に入れた体制の構築を検討していく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	研修の場の提供				

### 結果の概要

- 社会福祉の実践・実習教育として、大学等の各種学校及び企業の人材育成に協力し、研修生、実習生の受け入れを行った。
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、予定していた実習について受入期間の短縮や中止、また受入方法の変更（オンラインでの講義等）の申し入れがあった。

### 実績等

○令和2年度実習生受入校・企業（年度当初の受入予定校含む）

No.	学校	人数	日数	No.	学校	人数	日数
1	法政大学	1人	20日	10	日本社会事業大学（通信）	中止	中止
2	日本社会事業大学	1人	19日	11	共立女子大学	1人	5日
3	立教大学	1人	5日	12	帝京大学	3人	5日
4	明治学院大学	1人	4日	13	日本体育大学	1人	5日
5	日本大学	2人	1日	14	東京農業大学	1人	5日
6	東京都立大学	1人	33日	15	東京女子体育大学	1人	5日
7	日本福祉教育専門学校	中止	中止	16	東洋学園大学	1人	5日
8	桜美林大学	中止	中止	17	慈恵第三看護専門学校	18人	1日
9	大妻女子大学	中止	中止	合計		33人	113日

※No.1～10は社会福祉士実習、No.11～16は介護等体験、No.17は臨地実習（老年看護学）

※No.5日本大学はインタビュー形式による実習（生徒と担当教員）

※No.17慈恵第三看護専門学校はZoomによるオンライン講義

※例年受け入れていた京王バス、中学生の職場体験、調布市役所からの実習生は、新型コロナウイルスの影響により実習依頼なし。

### 分析・課題

- 社会福祉士実習のプログラムは原則24日間で各部署を回るような形で受け入れてきたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、受入部署の限定や地域の活動休止が相次ぎ、実習先や期間の短縮、またはオンライン講義に変更して実施した。
- 次年度も同様に新型コロナウイルスの影響を大きく受けることが予想される。受入先や受入期間、またその方法については、各学校と状況を見ながら検討・判断していく。

## 6 団体支援等

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	地域福祉活動支援事業			市	

結果の概要

- 地域で活動を行っている団体に対して、活動の充実、発展を支援するための助成事業を実施。
- 申請7団体全てが書類選考を通過。公開プレゼンテーションを経て、7団体に助成決定されたが、1団体辞退となり、今年度は6団体に助成を行った。
- 年度初めの公開プレゼンテーション・年度末の活動報告会は、新型コロナウイルスの影響で中止となり、検討評価委員は申請書を読み、書面にて審査をして頂き、報告も活動報告を読んだ検討評価委員より講評をいただいた。

実績等

## ○選考

日 程	書面にて開催。
内 容	応募団体の公開プレゼンテーションにより、検討評価委員が選考。 6団体助成決定。

## ○助成団体（6団体）

団体	活動内容
NPO 法人 きもの笑福	令和元年発足され、「和装文化」普及活動を行う。中学校の家庭科授業にて出前講座を行い、生徒に着物の歴史・文化を教えると同時に、男女全員分の浴衣を準備し、講師の指導の下、生徒自身で着る実技体験を行っている。
調布・桜いきいき支部	平成27年度創設のスポーツ吹き矢団体。健康増進と生き甲斐の創造を活動目的に、市内公共施設にて定期練習実施。また他団体に講師として出向いたり、イベントにも参加している。
GAGANI Plus	競技としての障害者水泳クラブ、及び練習の場所を提供する。調布市からナショナルチーム（水泳）の選手を輩出する。
一般社団法人 すこっぷ	発達障害児やその家族が地域で安心安全に暮らしていけるよう正しい認識と地域支援体制を作る、地域と接点・交流機会を持つことで理解者を拡大することが目的である。
障がい者のためのメンタルスキル講座 LaLa	今年1月視覚障がい者のメンタルヘルス講座を行うために発足された団体。代表の経験をふまえ、昨年外部イベントにて行った講座が好評につき、定期的活動を始めた。現在定例会とともに、年に数回講座開催を目指している。
しばさき彩ステーション	商店街内の空き店舗にて昨年7月発足。地域の課題に住民自身が主体的にかかわる居場所・機会を目的としている。平日昼間はカフェとして常時オープンし、講師を地域から招いたセミナーやランチ会も行っている。

○活動報告会

新型コロナウイルスの影響で開催できなかったため、各団体の報告を動画で撮影し、YouTubeで公開した。また、書面にて検討評価委員の講評をいただいた。

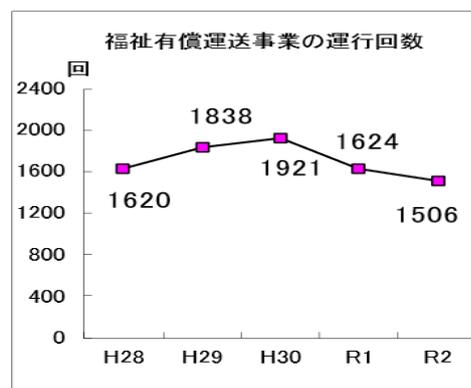
分析・課題

- 今年度から助成金総額が減少した。そのため配分できる金額は少なくなり、各団体とも申請額には及ばない金額での助成となった。
- 今後も助成配分金が大幅に増加することは難しいと思われる。限られた助成金の中で、地域福祉推進に関わる団体に効果的に配分し、各団体の交流など促進していけるかが課題である。
- 本助成事業は助成金支援だけではなく、新しい活動を行う団体活動全体の支援を目指している。地域福祉コーディネーター（コミュニティソーシャルワーカー）や地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）、また市民活動支援センターと連携して、包括的な支援をしていきたい。

番号	事業名	財源			
		自主 歳	補助	委託	事業
(2)	福祉有償運送に係る補助金交付事業				

結果の概要

○既存の交通機関を利用して外出することが困難な市民の在宅援護の一助として実施する福祉有償運送を行う NPO 法人への運営費補助を行った。



実績等

○利用目的別運行実績

区分	利用目的別件数					合計
	通院	通園(所)	社会参加	入院	退院	
4月～6月 計	125	56	44	0	0	225
7月～9月 計	189	128	63	2	3	385
10月～12月 計	214	130	93	10	10	457
1月～3月 計	232	129	62	9	7	439
合計	760	443	262	21	20	1506

分析・課題

- 運行回数は、昨年度に引き続き減少となった。
- 定期受診で利用していた利用者が辞めたことや、社会参加で利用されていた方が新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用を控えたことが減少の要因と考えられる。
- 地域包括支援センターなど関係機関を中心に広報活動を実施しており、関係機関からの紹介でつながる利用者がいた。
- 広報活動を続けていくことが利用者増加につながると考えられる。
- NPO 法人調布ハンディキャブメンバーの高齢化が進んでおり、人員不足が今後課題となる可能性がある。

るため、サービスの認知度を高めるためのPRと併せて人員募集も積極的に行っていく必要があるのではないかと。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	調布市老人クラブ活動支援事業			市	

### 結果の概要

- コロナ禍でほとんどの事業が出来ない中、少しでも実施できるよう事務局として新たな活動及び方法を提案した。
- 市老連広報誌「不老又新」を会員だけではなく、市役所高齢者支援室窓口、各地域福祉センター、老人憩いの家に配架をし、広く市民に周知できた。
- 新規老人クラブ1クラブ設立され、連合会に加入した。
- 令和2年4月現在 単位クラブ数 36クラブ 会員数 1,772人

### 実績等

1	会議関係	総会	4月21日 文書審議による	64人
		理事会	8回	延114人
		会長会議	2回	延67人
		会計監査	4月9日、10月27日	延4人
		指導者研修会	中止	
2	友愛実践活動	友愛リーグ会議	2回	延20人
		友愛実践活動研修会	中止	
3	グラウンドゴルフ大会	第25回大会	中止	
		専門委員会、反省会	中止	
	グラウンドゴルフ練習	毎週水曜日 調布基地跡地運動場 自由広場		自由参加
		毎週金曜日 多摩川河川敷ソフトボール場←中止		
	ペタンク大会	第42回大会	中止	
		専門委員会、反省会	中止	
	ゲートボール大会	親睦会	中止	
		専門委員会	中止	
	輪投げ大会	第57回大会	中止	
		専門委員会、反省会	中止	
みんなの健康教室	教室	中止		
	専門委員会	中止		
健康吹き矢教室	練習	中止		
4	将棋大会	将棋大会	中止	
		専門委員会	中止	
	囲碁大会	囲碁大会	中止	
		専門委員会、反省会	計1回	6人

化 活 動	俳句大会	俳句大会	郵送による大会を実施	46人
		専門委員会	1回	5人
	会員作品展	会員作品展	中止	
		専門委員会、反省会	計1回	22人
	芸能大会	第53回大会	中止	
		専門委員会	中止	
	カラオケふれ あいの集い	第29回カラオケふれ あいの集い	中止	
		専門委員会	中止	
	囲碁教室	練習	5回	23人
	不老又新		不老又新夏号、新春号の発行	年2回
5 女 性 部	女性部全体会		文書による報告 活動目標、活動予定ほか	
	女性部常任委員会		3回	延35人
	女性部ブロック委員会		中止	
	調布よさこい		中止	
	レクダンスの伝承		中止	
	日帰り研修旅行		中止	
	女性部おたのしみフェスタ		中止	
6 そ の 他	木島平村交流		中止	
	玩具の伝承	調布よさこい		中止
		福祉まつり		中止
		むさ森公園フェスタ		中止
		多摩小総合学習		中止
		実行委員会		計2回
	新春のつどい	式典・懇親会		中止
	敬老会			中止
	市老連一泊旅行			中止
7 東 京 都 老 人	女性部全体会			中止
	レクダンス・エアロビクス指導者研修会			中止
	東老連新任単位クラブ会長研修会			中止
	東老連輪投げ大会			中止

ク ラ ブ 連 合 会 関 係	関東甲信越静ブロック老人クラブリーダー研修会	中止	
	東老連女性リーダー連絡会議及び手作り品講習会	中止	
	東老連女性リーダー宿泊研修会	中止	
	東老連ペタンク大会	中止	
	東老連グラウンド・ゴルフ大会	中止	
	東京都老人クラブ大会	中止	
	東老連シニア健康フェスタ	中止	
	市区町村老連会長並びに役員研修会	中止	
	東老連新年会	中止	
8 東 老 連 多 摩 地 区 第 4 ブ ロ ッ ク 関 係	多摩地区第4ブロック女性部推進リーダー会議 (小金井市社会福祉協議会)	6月11日	2人
	多摩地区第4ブロック会議	中止	
	多摩地区第4ブロック軽スポーツ交流会代表者会議 (総合福祉センター)	中止	
	多摩地区第4ブロック健康教室事業	参加せず	
	多摩地区第4ブロック女性部会連絡会議 (小金井市社会福祉協議会)	8月20日	2人
	多摩地区第4ブロック軽スポーツ交流会輪投げ大会	中止	
	多摩地区第4ブロックシニアフェスタ練習 (狛江市上和泉地域センター体育館)	中止	

### 分析・課題

- 会員減少の原因の一つである会計処理問題緩和への対策として、会計に関する懇談会を地区ごとに企画したが、コロナ禍で一部のみの実施となった。今後、未実施の地区も懇談会を行い、その効果等について検証する必要がある。
- 会員が減少・高齢化しているクラブが増加しているが、なかなか若い世代の新規会員を増やすことができていない。どちらの世代のニーズにも合った活動を勘案し、実施していく必要がある。
- 若い世代の会員を増やすために、これまで主に紙ベースで行っていた広報活動に加え、ホームページを公開している。コロナ禍で事業活動が減っている中、少しずつだが情報を更新できている。また更

新を行うことによって10%程度だが、ページビュー数が増えている

○リーダー不在で休会となっているクラブ、高齢化に伴い活動が少なくなっているクラブは、同じ地区協議会内で協力し、活動の安定化を進めている。

○連合会活動の活性化のため、比較的若い世代の会員で総務部の活動を始めている。今後は問題点に対しての対策を実施すべく協議していく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	調布市障害者（児）団体連合会への支援				

### 結果の概要

○新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から総会については書面での決裁を実施し、評議員会、交流会、合同会議は中止とした。

○市が主催する総合福祉センター移転に関する検討委員会に対して、会として当事者および家族代表として2人の委員を選出し、移転に関する検討事項について共有した。

### 実績等

行事	実施日	実施回数	参加者	内容
会計監査	6月8日（月）	年1回	監査2人 事務局3人	令和元年度会計監査

### 分析・課題

○次年度も同様に新型コロナウイルスの影響を大きく受けると予想される。通常の活動をいつ頃再開するか各会代表と状況を見ながら検討する必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(5)	福祉団体等事業助成	基	市		

### 結果の概要

○障がい者団体や高齢者団体等の会運営や事業に対し助成を行い、団体の活動を支援した。

○新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から平和祈念祭が中止となったため、助成した大会助成金105,000円が返還された。

### 実績等

○団体助成、大会助成

No.	団体名	助成内容	助成額
1	調布市原爆被害者の会	会運営費・平和大会	20万円
2	調布市遺族厚生会	会運営費・平和祈念祭	28万円
3	共同募金調布地区協力会	会運営費	20万円

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(6)	機材の貸出				

結果の概要

- ボランティアグループ、福祉施設、公的機関等の事業に対して、テント、パネル、スクリーン等の社協機材の貸出を行った。
- 故障等への対応、貸出のルールの特化、物品ごとの色分け等、工夫を行ったことで、予約の重複や物品の紛失など大きな問題はなく貸出ができた。

実績等

## ○貸出件数一覧

社協機材	貸出件数	社協機材	貸出件数	社協機材	貸出件数
テント（大）	23件	ポップコーン機	19件	パネルフック	18件
テント（小）	21件	ブルーシート	17件	ビンゴ抽選機	16件
テントウェイト	25件	ポッチャー式	22件	拡声器	17件
ワイヤレスアンプ	60件	CDラジカセ	216件	折りたたみ椅子	23件
プロジェクター	116件	有線マイク	29件	スクリーン	107件
冷水用ジャー	18件	パネル	21件	輪投げセット	20件
延長コード	92件	パネル足	19件	譜面台	22件
移動式赤ちゃんの駅	16件	書画カメラ	29件		
合計	966件				

分析・課題

- 福祉活動の充実を側面から支援するため、貸出ルールの徹底及び貸出物品を使いやすく整備する。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(7)	後援・共催事業				

結果の概要

- 市内各種団体が福祉活動を実施するに当たり、依頼に応じて後援を行った。
- 新型コロナウイルスの影響で、例年イベントを開催していた申請がなかったり、申請したがイベントを中止にした団体が多くあった為、例年より件数が少なかった。

実績等

## ○後援事業一覧

No.	事業名	主催団体
1	2020 アースデイ in 調布	2020 アースデイ in 調布
2	ICT 東京フォーラム 2020～災害×コロナを ICT に よってどう乗り越えられるのか？	ICT 東京フォーラム実行委員会
3	夏休み特別企画・おやこ工作フェスタ 「オリジナル・貯金箱を作ろう」	アズコヤ3

4	市民向けSDGs（持続可能な開発目標）講座	NPO法人ちょうふこどもネット
5	第25回京王沿線ふれあいの ハーモニカコンサート	調布ハーモニカサークル四季
6	健康歌声サロン	健康歌声サロンの会
7	第16回 深大寺短編恋愛小説 「深大寺恋物語」公募事業	深大寺短編恋愛小説実行委員会
8	2020年度無料法律相談会	弁護士法人 多摩パブリック法律事務所
9	第15回 調布フィーリングアーツ ダンス&バレエライブ	調布フィーリングアーツ
10	第31回調布親子まつり	調布親子まつり実行委員会
11	ヤマメプロジェクト in 多摩川	公益社団法人 調布青年会議所
合計		11件

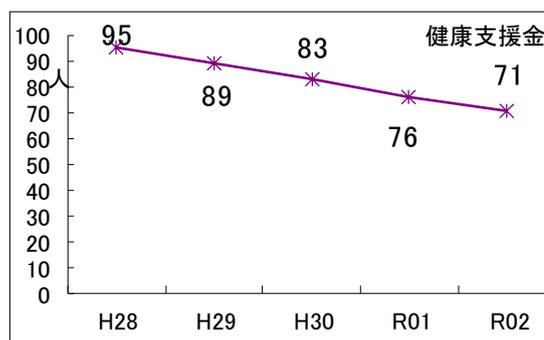
○共催事業一覧

No.	事業名	主催団体
1	高齢者・障害者のための成年後見相談会	公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート東京支部
2	「北ノ台ふれあい朝市」	北ノ台まちづくりネットワーク
合計		2件

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(8)	健康支援金		市総		

結果の概要

○健康支援金給付事業事務取扱要領に基づき、被爆者健康手帳の交付を受けている方に健康支援金を口座振込みにより給付し、福祉の増進を図った。



実績等

○支給人数71人

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(9)	中央競馬馬主社会福祉財団助成事業				

結果の概要

○平成24年度より中央競馬馬主社会福祉財団の公益財団法人の移行に伴い、NPO法人に関して直接助成が可能となった。引き続き無認可の施設に関しては社協からの申請・管理となる。  
 ○NPO法人が申請を行う場合、当該施設の所在地域の社協の推薦状が必要となり、令和2年度は申請1件。  
 ○事業総額費の70%を財団が助成を行い、30%は施設の自己負担分となる。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(10)	招待事業				

結果の概要

○企業、奉仕団体等より、障がい者や高齢者、事業協力者に対する招待をいただき、社協が窓口となつて、イベント等に招待しているが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により実施がなかった。

実績等

- 調布市花火大会への招待  
新型コロナウイルスの影響で花火大会が中止となり、招待はなかった。
- 味の素スタジアムFC東京公式戦招待  
新型コロナウイルスの影響で、実施されなかった。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(11)	調布市いきいきクラブ調理運営協議会事務局			市	○

結果の概要

- 通所介護アイビーの利用者に昼食を提供する調理ボランティア団体「調布市いきいきクラブ調理運営協議会（以下「協議会）」の事務局として支援した。
- 第5週目の元々活動のブロックがない日については、17回中5回会員の協力で調理活動を行い昼食提供ができた。調理活動のない日は仕出し弁当対応としたが、そのうち3回のみそ汁作り協力があった。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、アイビーの利用者との会食を止め、ボランティアは別室での食事をお願いした。
- 会員の高齢化等により退任する方が多く慢性的に人手は不足していたが、会員間の協力により昼食提供を続けることができた。新規登録者は7人。会員数71人・長期欠席者2人（令和3年3月31日現在）。
- 会員に1回500円の謝礼金の支払いを行った。延べ636人。
- 年2回の研修会と見学会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため令和2年4月・5月、令和3年1月・2月のブロック長会を中止した。
- 調理活動も令和2年4月・5月、令和3年1月8日から年度末まで中止した。

実績等

	項目	回数	内容
会議 関係	総会（中止）	0回	令和元年度決算・令和2年度予算等 書面にて議決した
	役員会	8/12回	活動内容（献立など）の決定・運営方法について
	ブロック長会	8/12回	材料費の支給・情報交換・懸案事項の検討
	監査会	1回	令和元年度決算監査
研修	研修会（中止）	0/2回	

	見学会（中止）	0回	
活動	調理活動	135回	通所介護「アイビー」利用者の昼食作り 新型コロナウイルス感染拡大防止対策で、約5か月の活動を中止した
	大掃除（中止）	0/2回	担当の場所を決め、調理活動後に清掃した
	細菌検査	12回	毎月1回ボランティアは細菌検体を提出
	避難訓練（中止）	0回	総会後に行う予定だったので未実施
広報	ボランティア募集	8回	ふくしの窓 3回 市報 4回 ちょうふFM出演 1回

### 分析・課題

- 第4火曜日の8ブロックと第2水曜日の10ブロックは全員が欠員となり、他ブロックからのボランティアによる応援にて活動を継続している。また、欠員ブロックに重複して活動をする協力会員が複数人いる。引き続き、活動のない第5週目や欠員ブロックの協力を要請していくと同時にボランティア募集の広報活動を強化していく。
- 全会員に対してアンケートを実施。調理活動以外の活動（総会や研修会等）への負担を感じる会員が多く、総会に代わり書面による議決など、運営のあり方を効率化する意見が半数以上あった。ブロック長会については、材料費の受け渡しや情報共有のため希望する意見が多く見られた。
- ブロック長会では、活動人数が少ない時の調理方法や献立、材料購入に関する情報共有の希望があり、各ブロックの情報を体系化して共有し、衛生面についても再確認の必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(12)	地域福祉コーディネーター（コミュニティソーシャルワーカー）（重点項目）		市		

### 結果の概要

- 以下の福祉圏域において制度の狭間の課題等、様々な相談を受けるとともに、各種団体・機関と連携しながら、支え合いの仕組みづくりを目指した。

福祉圏域 (小学校区)	主な担当地域	備考
緑ヶ丘 滝坂	仙川町1～3丁目、緑ヶ丘1・2丁目、 菊野台1丁目の一部、 東つつじヶ丘1～2丁目・3丁目の一部、 西つつじヶ丘1～4丁目の一部、若葉町1丁目の一部	
若葉 調和	東つつじヶ丘3丁目の一部、 西つつじヶ丘3・4丁目の一部、入間町1～3丁目、 若葉町1丁目の一部・2・3丁目、国領町8丁目の一部、 菊野台1丁目の一部・2・3丁目	
上ノ原 柏野	佐須町1丁目の一部・2丁目・3丁目の一部・4・5丁目、 柴崎1・2丁目、菊野台1丁目の一部、 西つつじヶ丘1丁目の一部・2丁目の一部、	

	調布ヶ丘3丁目の一部、深大寺元町2丁目の一部、 深大寺東町2丁目の一部・3・4丁目、 深大寺南町1～3丁目の一部・5丁目の一部	
北ノ台 深大寺	深大寺北町1～7丁目、佐須町1丁目の一部、 深大寺元町2丁目の一部・3～5丁目、 深大寺東町1丁目・2丁目の一部・5～8丁目、 深大寺南町1～3丁目の一部・4丁目・5丁目の一部	
第二 八雲台 国領	佐須町3丁目の一部、調布ヶ丘2丁目・3丁目の一部、 八雲台1・2丁目、国領町1～5丁目、8丁目の一部、 布田2・3丁目	
染地 杉森 布田	国領町6・7丁目、染地1～3丁目、 布田5・6丁目、多摩川6・7丁目	
第一 富士見台 多摩川	富士見町2丁目的一部分、下石原1～3丁目的一部分、 小島町1～3丁目、多摩川1～5丁目、布田1丁目・4丁目、 調布ヶ丘1丁目・3丁目的一部分・4丁目、深大寺元町1丁目	
第三 石原 飛田給	飛田給1～3丁目、上石原1～3丁目、富士見町1丁目、2丁目 の一部・3～4丁目、野水1・2丁目、西町	

## 実績等

### <共通>

- 日常の困りごとや心配ごと、社会的孤立・生活困窮・サービス未利用といった制度の狭間の課題、複合的な課題等、様々な相談について、必要な支援につなげるとともに、地域住民や様々な関係機関と連携し、課題解決に向けた働きかけを行った。
- 地域支え合い推進員及びボランティアコーディネーターと情報共有を行い、地域内の課題から地域住民同士の助け合いの仕組み創出のため、連携して支援をした。
- 昨年度12月より正式に団体として設立された「調布ひきこもり家族会やまぼうし」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で4月から6月まで活動を休止した。会を存続し定着させるため、世話人と話し合い、7月からは一般には周知せず「世話人準備会」として少人数で活動を再開した。
- 引き続き、「調布市相談支援包括化推進会議」を調布市福祉総務課とともに運営し、委員及び事務局として参加した。また、昨年度より始まっている8050問題に焦点をあてた「8050問題専門部会」は、支援者向けに作られた「8050問題つながるリーフレット」が完成した。
- 感染症の影響で小中学校の休校や緊急事態宣言となり、市内の子ども食堂の中止が余儀なくされた。その中で、調布市子ども食堂ネットワーク有志、若者の再出発を支えるネット、フードバンク調布とともに今できることは何かを考え、「こどもフードパントリー調布」「調布こども宅食プロジェクト」として令和2年3月より実施し、令和2年度は、配布形式を3回（延べ73世帯）、宅配形式を5回（延べ467世帯）を市全域対象に実施。また地域限定で配布形式2回（調和小地区25世帯、多摩川小地区77世帯）をそれぞれの地域の方とともに、こども食堂ネットワークと連携して実施した。
- 市民の方より、感染症の影響で大学生や大学院生、専門学生へも影響が及んでいることを鑑みて、学生を食料品配布を通して応援し、安心して学びを継続してもらいたいとの声があがり、その想いを共感してくれた有志で検討を重ね、10月と2月の合計2回学生向けの食料品配布（学生応援フードパ

ントリー調布)を市民とともに実施した。

- 様々な研修に参加するとともに、室田信一氏(東京都立大学准教授)によるスーパービジョン(指導・助言等)を受けて、職員の資質向上に努めた。

○実相談件数

福祉圏域(小学校区)	個別支援	地域支援	合計
緑ヶ丘・滝坂	56	49	105
若葉・調和	50	51	101
上ノ原・柏野	41	46	87
北ノ台・深大寺	28	28	56
第二・八雲台・国領	44	53	97
染地・杉森・布田	61	32	93
第一・富士見台・多摩川	33	20	53
第三・石原・飛田給	79	29	108
合計	392	308	700

○延べ活動件数(行動区分)

福祉圏域(小学校区)	訪問	来所	電話	メール	その他	合計
緑ヶ丘・滝坂	195	51	630	70	135	1,081
若葉・調和	513	152	641	410	418	2,134
上ノ原・柏野	409	93	513	70	241	1,326
北ノ台・深大寺	267	139	210	54	169	839
第二・八雲台・国領	305	183	468	265	388	1,609
染地・杉森・布田	287	137	371	118	259	1,172
第一・富士見台・多摩川	282	230	413	73	452	1,450
第三・石原・飛田給	398	203	508	250	309	1,668
合計	2,656	1,188	3,754	1,310	2,371	11,279

<滝坂・緑ヶ丘小学校地域>

- 経済困窮により住まいを失った状態のケースや、数十年のひきこもり状態であった方の親が他界し社会不適應を起こしたケース等、狭間にある課題を発見し、相談につながり、日常生活に戻るまで支援が複数あった。
- 空き店舗で地域の拠点となる活動をつくるため、地域で活躍している団体と、空き家オーナーをつないだ。その結果、新たな常設の居場所が誕生した。

<若葉・調和小学校地域>

- 個人宅を開放し茶話会ができる場を提供している団体や「10の筋力トレーニング」を行う団体等、新型コロナウイルスの中、どのように開催していけばよいかを共に考え支援した。団体の代表者だけでなく団体に関わるメンバーも協議に参加してもらい決定するプロセスを大切にしたい。

<上ノ原・柏野小学校地域>

○新しい生活様式が求められる中、高齢の方々から体力低下の心配や孤独感などの声が上がった。フレイル予防、外出の機会の創出、他者との交流を絶やさないなどの観点から、新型コロナウイルス感染を予防しながらできることを考える必要があった。菊野台コーナー・地域包括支援センターと協働し、どなたでも気軽に立ち寄れる地域福祉センターを拠点とする「10の筋力トレーニング」のグループを立ち上げた。

<北ノ台・深大寺小学校地域>

○野ヶ谷の郷とアクティスの会（こども食堂準備会）の協働で野ヶ谷の郷の夕方の時間を使って、子どもの居場所、学習見守りの場について検討。地域のこどもたちのために、どのような場所にしたいかを共に考え支援した。今後、多世代交流の場となるよう継続して支援していきたい。

<第二・八雲台・国領小学校地域>

○新型コロナウイルスの影響で多くの外国籍家庭が生活困窮に陥った。中でも、市内に住むバングラデシュ人の生活支援金の貸付の相談から、当該国人支援を行う国際NPO法人が市内にあることがわかり、法人が求める市内外の支援情報を提供した。また法人のホームページの英語訳を、別の機会に紹介された外国にルーツを持つボランティア学生と行った。さらにその学生の言語スキルをいかしたボランティアとして、英語の話し相手を求める市民に紹介をしたりと、これまであまり例がない支援が展開された。

<染地・杉森・布田小学校地域>

○新型コロナウイルスの影響により、地域内の「こども食堂」が食事提供の開催中止を余儀なくされた。スタッフとともに、他の手段で子どもとのつながりを維持することはできないかを検討を重ねた。感染拡大防止を考慮しながら、食料品配布という手段を通して、子どもたちとつながり続ける機会を作る工夫を一緒に考えた。また子どもや保護者の声を聞くためのアンケート実施の手伝い、市民や企業からの寄付情報や市の補助金情報の提供などの行い、地域の子どものために子ども食堂として今何ができるのかを考えるよう支援した。

<第一・富士見台・多摩川小学校地域>

○スマートフォンやパソコン、インターネットの活用について気軽に相談や情報共有できる場として、「みんなDEネットサロン」が立ち上がった。新型コロナウイルスの影響により、集まっての活動継続が難しくなる中、活動を通してZoomの使い方を共有していたことで、自宅からのリモートでサロンを開催し、活動を継続することができた。また、これからの地域活動を継続するためのアイデアや工夫を、住民と共に考える機会となった。

<第三・石原・飛田給小学校地域>

○調布市住宅課が進めている「まちの『つながり』プロジェクト」と任意団体「地域の空き家を考える会」が連携し、空き家を活用しての居場所づくりの検討会を進めた。また、通念を通して開催されたワークショップや講演会などに参加し、地域コミュニティへのアプローチの方法などを学んだ。

## 分析・課題

○これまでの関係づくりや、働きがけをしていたことが起点となり新たな取組につながるケースが増えている。

- 新型コロナウイルスの拡大により、地域活動はほとんどの活動が縮小や休止になっていた。その一方、高齢者のスマホ講座の発展や、リモートで実施するひだまりサロン、住民主体のフードパントリーなど、この状況下だから誕生した地域活動が増えた。
- 相談の中には制度の狭間や複合的な地域生活課題が多く含まれ、課題解決につながらない相談もある。来年度以降の重層的支援体制整備事業を見据えて、調布市相談支援包括化推進会議及び専門職ネットワーク会議と連携を図ることが必要である。
- 社協内の各部署との連携をより緊密に図り、法人全体で地域福祉推進に取り組んでいく必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(13)	ちょうふ地域福祉フォーラム				

### 結果の概要

- 新型コロナウイルスに対応し、地域のつながりをなくさずに活動を継続・新たな方法で再開していくには「どうすればいいか」をテーマに開催した。活動の工夫により、地域活動を継続するための新たな支え合いの仕組みづくりについて学ぶことができた。
- 感染症予防対策としてオンラインによる配信を行った。

### 実績等

タイトル	コロナに負けない！調布の地域活動
日時	令和3年3月8日（月）～4月16日（金）
会場	オンライン配信（録画配信）
内容	(1) 基調講演 講師 室田 信一氏（東京都立大学准教授） (2) 活動報告 ・みんなDE ネットサロン ・こども食堂かくしょうじ ・仙川オレンジカフェ
閲覧者数	98人

### 分析・課題

- 地域の課題を解決するために取り組んでいる様々な実践を学び、地域福祉への関心を高める。孤立や孤独を中心に地域課題は止まらず、失業や休業などの経済的課題も重なる中だからこそ、繋がりを継続したいと考えられた方々の思いを共有する機会を持ちたいと企画した。
- オンライン配信による初回の地域福祉フォーラムとなったが、98人の方からのお申し込みがあり配信で情報発信する事に関してもニーズがあることが分かった。
- 動画配信を企画する際には、インターネット環境の無い方や、タブレット端末の操作が苦手な情報取得が難しい方にどのような手段で、正確に同じ内容を届けることができるかを検討していきたい。